

## 沿革 | 園芸農業研究所

昭和 40 年 4 月	山形県立園芸試験場として設立
昭和 42 年 4 月	試験研究業務を開始、総務課・果樹課・そ菜花き課の 3 課となる 砂丘分場が農業試験場より移管され、園芸試験場砂丘分場となる
昭和 48 年 4 月	果樹部・野菜花き部・環境部を設置、1 課 3 部体制となる
昭和 53 年 4 月	砂丘分場が独立し、砂丘地農業試験場となる
昭和 59 年 4 月	先進技術開発研究室を設置、1 課 1 室 3 部体制となる
昭和 63 年 4 月	育種部を設置、1 課 1 室 4 部体制となる
平成 4 年 4 月	野菜花き部が野菜部と花き部に分割、1 課 1 室 5 部体制となる
平成 11 年 4 月	農業試験場より生物工学部門が移管され、先進技術開発研究室が生物工学研究室となる
平成 12 年 4 月	総務課、バイオ育種部、果樹研究部、野菜花き研究部および環境研究部の 1 課 4 部体制となる
平成 17 年 4 月	農業関係試験研究機関の組織改編により、山形県農業総合研究センター農業生産技術試験場となり、総務課、バイオ育種科、果樹研究科、野菜花き研究科および園芸環境研究科の体制となる 村山総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室が併設される
平成 21 年 4 月	山形県農業総合研究センター園芸試験場と改称
平成 23 年 4 月	総務課、バイオ育種部、果樹部、野菜花き部、園芸環境部の体制となる
平成 29 年 12 月 ～	新本館および関連施設建設工事開始
令和 2 年 3 月	新本館（管理棟、研究棟）落成
4 月	山形県農業総合研究センター園芸農業研究所と改称
7 月	開所式、新本館での業務開始